

<研究の内容>

「高齢患者の薬剤数と減薬希望への血液型の影響についての研究」

当院で以下に説明する研究(調査)をすることになりましたのでご案内します。

◆研究(調査)の対象となられる方と方法

2015年1月から2017年5月頃にかけて当院整形外科に入院した65歳以上の方が対象です。その中で以下のいずれかに該当する場合に対象となります。

★入院中に当院薬剤師がポリファーマシー外来受診の説明をした

★股関節骨折が主原因で入院した

診療録(カルテ)に記載された既往歴、内服薬、診療内容などを調べて研究(調査)に使わせて頂きます。個人情報とはデータ収集の時点で匿名化し厳重な保護を行います。従って研究結果の発表に際して個人が特定されることはありません。

◆研究(調査)の背景と目的

社会の高齢化に伴い多くの病気を持つ高齢者が増え、多くの薬を内服する高齢者が増えています。しかし残念なことに、実際にはその内服している薬の中には不適切な処方薬が意外と多いという報告があります。そういった場合は、薬の効果よりも害が勝る可能性があり危険です。そのため不適切薬剤を減らすための試みが世界的に行われてきています。しかし、現実には不適切な薬物使用があっても薬をやめられない事が多いです。その原因として患者要因と処方医要因の2つがありますが、今回それらの要因のうち血液型が影響しているかどうかを検証するのが今回の研究(調査)の目的です。

この期間に当院整形外科を入院されたことがある患者様で、もしご自身のデータを研究(調査)に使用されたくない場合は、診療情報を使用致しませんので、下記のお問い合わせ窓口まで、お申し出ください。なお、この研究で新たなご負担はありません。

◆お問い合わせ窓口(平日 13:00-16:00)

国立病院機構 栃木医療センター 内科 駒ヶ嶺 順平 電話：028-622-5241